

施策評価シート

施策等名称	職場、家庭において男女が共に活躍できる社会の実現	体系番号	0602010103
		主管課	生涯学習課

1 施策基本情報

現状と課題	- 茅野市男女共同参画基本条例に基づき、これまで2次にわたる「茅野市男女共同参画計画（はつらっプラン21）」により、男女共同参画社会の実現に向け、各施策を推進してきました。 - 性別による固定的な役割分担意識は徐々に減っていますが、地域・職場・家庭において多くの課題が残されており、継続した取組が求められています。
めざす将来像 （あるべき姿、基本的な考え方）	男女がともに人生のそれぞれの段階に応じた生き方を選択し、多様な働き方が可能となるように、働きやすい職場環境づくりを推進します。また、家庭においては男女が子育てや、介護などを協力して担い、共に充実した生活を送ることができる環境づくりに取り組みます。

施策指標	指標名称		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値
					2027年度目標値
	①	茅野市はつつ事業所認定数	事業所	53	83
					100
	②	「ワーク・ライフ・バランス」という用語の認知度	%	39.00	50.00
					90.00
③	一日保育士体験父親参加割合	%	25.00	40.00	

施策の体系	施策の柱 1	名称	職場における男女共同参画の推進			主管課	生涯学習課		
		詳細	ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、働き続けることを希望する女性が、自分のキャリアをあきらめることなく、活躍できる環境整備を進めます。						
		まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分
		1	茅野市はつらつ事業所認定数	事業所	53	83	1	男女共同参画推進事業	実施
						100	2		
		2	「ワーク・ライフ・バランス」という用語の認知度	%	39.00	50.00	3		
						90.00	4		
		3					5		
						6			
	基本政策間連携								
	施策の柱 2	名称	家庭における男女共同参画の推進			主管課	幼児教育課		
		詳細	男女が共に安心し、子育てや介護を行いながら、あらゆる活動に参画する機会を確保するため、男女が共に助け合い、お互いに責任を担う家庭環境の整備を進めます。						
		まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分
		1	一日保育士体験父親参加割合	%	25.00	40.00	1	保育所運営事業(保育事業)	実施
							2		
		2					3		
						4			
3						5			
					6				
基本政策間連携									
施策の柱 3	名称				主管課				
	詳細								
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分	
	1					1			
						2			
	2					3			
						4			
	3					5			
					6				
基本政策間連携									

施策等名称	職場、家庭において男女が共に活躍できる社会の実現	体系番号	0602010103
		主管課	生涯学習課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分		成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
指標No.			中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)					
施策		茅野市はつらつ事業所認定数	53	79	82	89	87	90	91
1			83	95.18	98.80	107.23	104.82	108.43	109.64
変動要因等	2018年度	事業の周知や茅野市男女共同参画推進会議委員による声かけにより申請が増えた。また、茅野市はつらつ事業所の認定事業所が茅野市の入札参加資格審査の新客観点に追加されたことも、申請が増えた要因と考えられる。							
	2019年度	事業の周知や茅野市男女共同参画推進会議委員による声かけにより申請が増えた。							
	2020年度	事業の周知や茅野市男女共同参画推進会議委員による声かけにより申請が増えた。							
	2021年度	年度当初、担当課を通じて事業の周知をしたが、新規事業所の申請はなかった。また、今年度認定期限切れとなる2事業所から、継続申請がなかったことによる減少。							
	2022年度	年度当初、担当課を通じて事業の周知を行い、新規事業所3件から申請があり認定された。							
	2023年度	新規事業所1件から申請があり認定された。							
施策		「ワーク・ライフ・バランス」という用語の認知度	39.00	-	-	-	-	60.90	-
2			50.00	未調査	未調査	未調査	未調査	121.80	-
変動要因等	2018年度	5年ごとに実施する男女共同参画に関する調査により認知度を確認するため、数値は計画策定時のままとする。次回の調査は、令和3年度(2021年度)の予定。							
	2019年度	5年ごとに実施する男女共同参画に関する調査により認知度を確認するため、数値は計画策定時のままとする。次回の調査は、令和3年度(2021年度)の予定。							
	2020年度	5年ごとに実施する男女共同参画に関する調査により認知度を確認するため、数値は計画策定時のままとする。次回の調査は、令和3年度(2021年度)の予定。							
	2021年度	5年ごとに行う男女共同参画に関する調査を実施した。調査集計は翌年度になるため、数値は計画策定時のままとする。							
	2022年度	5年ごとに実施する男女共同参画に関する意識調査結果では、60.9%となった。前回調査時より21.9ポイント高くなった。							
	2023年度	5年ごとに実施する男女共同参画に関する調査により認知度を確認するため、数値は計画策定時のままとする。次回の調査は、令和9年度の予定。							
施策		一日保育士体験父親参加割合	25.00	26.00	24.00	20.80	13.50	13.60	19.80
3			40.00	65.00	60.00	52.00	33.75	34.00	49.50
変動要因等	2018年度	市民にとってパートナーシップのまちづくりという言葉自体は、耳にする機会はあるが、公民協働の活動に参加していない方には、本来の意味合いを理解していただけていないため、よくわからないと思われると考えられる。							
	2019年度	公民協働の活動に参加していない方には、本来の意味合いを理解していただけていないため、よくわからないと思われると考えられる。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民アンケートが実施されず満足度が測れなかったため、昨年度同様の数値とする。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民アンケートが実施されず満足度が測れなかったため、昨年度同様の数値とする。							
	2022年度	市民アンケートの項目変更により測定不能。							
	2023年度	コロナ5類移行により、受け入れ日数が増えたことによる増。							
柱1		茅野市はつらつ事業所認定数	53	79	82	89	87	90	91
1			83	95.18	98.80	107.23	104.82	108.43	109.64
変動要因等	2018年度	事業の周知や茅野市男女共同参画推進会議委員による声かけにより申請が増えた。また、茅野市はつらつ事業所の認定事業所が茅野市の入札参加資格審査の新客観点に追加されたことも、申請が増えた要因と考えられる。							
	2019年度	事業の周知や茅野市男女共同参画推進会議委員による声かけにより申請が増えた。							
	2020年度	事業の周知や茅野市男女共同参画推進会議委員による声かけにより申請が増えた。							
	2021年度	年度当初、担当課を通じて事業の周知をしたが、新規事業所の申請はなかった。また、今年度認定期限切れとなる2事業所から、継続申請がなかったことによる減少。							
	2022年度	年度当初、担当課を通じて事業の周知を行い、新規事業所3件から申請があり認定された。							
	2023年度	新規事業所1件から申請があり認定された。							
柱1		「ワーク・ライフ・バランス」という用語の認知度	39.00	-	-	-	-	60.90	-
2			50.00	未調査	未調査	未調査	未調査	121.80	未調査
変動要因等	2018年度	5年ごとに実施する男女共同参画に関する調査により認知度を確認するため、数値は計画策定時のままとする。次回の調査は、令和3年度(2021年度)の予定。							
	2019年度	5年ごとに実施する男女共同参画に関する調査により認知度を確認するため、数値は計画策定時のままとする。次回の調査は、令和3年度(2021年度)の予定。							
	2020年度	5年ごとに実施する男女共同参画に関する調査により認知度を確認するため、数値は計画策定時のままとする。次回の調査は、令和3年度(2021年度)の予定。							
	2021年度	5年ごとに行う男女共同参画に関する調査を実施した。調査集計は翌年度になるため、数値は計画策定時のままとする。							
	2022年度	5年ごとに実施する男女共同参画に関する意識調査結果では、60.9%となった。前回調査時より21.9ポイント高くなった。							
	2023年度	5年ごとに実施する男女共同参画に関する調査により認知度を確認するため、数値は計画策定時のままとする。次回の調査は、令和9年度の予定。							
柱2		一日保育士体験父親参加割合	25.00	26.00	24.00	20.80	13.50	13.60	19.80
1			40.00	65.00	60.00	52.00	33.75	34.00	49.50
変動要因等	2018年度	市民にとってパートナーシップのまちづくりという言葉自体は、耳にする機会はあるが、公民協働の活動に参加していない方には、本来の意味合いを理解していただけていないため、よくわからないと思われると考えられる。							
	2019年度	公民協働の活動に参加していない方には、本来の意味合いを理解していただけていないため、よくわからないと思われると考えられる。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民アンケートが実施されず満足度が測れなかったため、昨年度同様の数値とする。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民アンケートが実施されず満足度が測れなかったため、昨年度同様の数値とする。							
	2022年度	市民アンケートの項目変更により測定不能。							
	2023年度	コロナ5類移行により、受け入れ日数が増えたことによる増。							

施策等名称	職場、家庭において男女が共に活躍できる社会の実現						体系番号	0602010103	
							主管課	生涯学習課	

3 評価・改革改善

(単位:円)

項 目			2018年（前年度比）		2019年（前年度比）		2020年（前年度比）		2021年（前年度比）		2022年（前年度比）		2018年～2023年（総括）	
評価	投資額	事業費(円)	770,504		592,292	0.77	434,720	0.73	719,055	1.65	402,458	0.56	385,492	0.96
		うち一財(円)	770,504		592,292	0.77	434,720	0.73	719,055	1.65	402,458	0.56	385,492	0.96
	(2018年～2023年(総括)については2023年の実績を記載)	増減理由 (一般財源前年度比±10%以上の場合に記載)			・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議を中止したことにより、報酬等の支払が減少したため、前年度に比べ事業費が減となった。		・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議を中止したことにより、報酬等の支払が減少したため、前年度に比べ事業費が減となった。		・5年ごとに行う男女共同参画に関する調査の実施のため事業費が増となった。		・5年ごとに行う男女共同参画に関する意識調査(2021年実施)事業費の減。			
	進捗評価			おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調
総合評価	主な取組内容や成果		・茅野市はつらつ事業所の認定事業所が79事業所となり、目標の達成率が95%を超えた。 ・男女共同参画を考える機会として、市民を対象に男女共同参画をテーマにした川柳の募集を行った。小中学校を通じた周知に力を入れたため、多くの小学生から応募があった。		・茅野市はつらつ事業所の認定事業所が82事業所となり、目標の達成率が98%を超えた。 ・市民を対象に男女共同参画をテーマにした川柳の募集を行った。中央公民館の事業を通じ周知に力を入れたため、昨年度以上の応募があった。		・茅野市はつらつ事業所について、茅野市男女共同参画推進会議委員による声かけなどにより、認定事業所が89事業所となった。		・男女共同参画社会づくり推進のため、茅野市男女共同参画のロゴマークを募集し決定した。茅野市内在住、在勤、在学の方から募集し、93人から97点の応募があった。多くの方に男女共同参画を意識してもらう機会となった。		(R4評価)男女共同参画の推進のため、川柳募集事業に併せて茅野市男女共同参画ロゴマーク愛称を募集し決定した。 (総括評価)川柳募集やはつらつ事業所認定事業について、継続した取組を行うことで、市民のみなさんに男女共同参画社会の推進のための意識啓発を行った。		川柳募集やはつらつ事業所認定事業について、継続した取組を行うことで、市民のみなさんに男女共同参画社会の推進のための意識啓発を行った。	
		課題	・茅野市はつらつ事業所の認定事業所は主に製造業と建設業である。他業種の申請を増やすための取組が必要である。		・茅野市はつらつ事業所の認定事業所は主に製造業と建設業である。他業種の申請を増やすための取組が必要である。		・茅野市はつらつ事業所の認定事業所は主に製造業と建設業である。他業種の申請を増やすための取組が必要である。		・茅野市はつらつ事業所の認定事業所は主に製造業と建設業である。他業種の申請を増やすための取組が必要である。		(R4・総括評価共通)茅野市はつらつ事業所の認定事業所は主に製造業と建設業である。他業種の申請を増やすための取組が必要である。		茅野市はつらつ事業所の認定事業所の申請を増やすための取組が必要である。	
改革・改善	改革・改善内容		・茅野市男女共同参画推進会議雇用専門部会と連携し、製造業や建設業以外の事業所に対し、茅野市はつらつ事業所の取組について周知する。		・茅野市男女共同参画推進会議雇用専門部会と連携し、製造業や建設業以外の事業所に対し、茅野市はつらつ事業所の取組について周知する。		・茅野市男女共同参画推進会議雇用専門部会と連携し、製造業や建設業以外の事業所に対し、茅野市はつらつ事業所の取組について広報で周知する。		・茅野市男女共同参画推進会議雇用専門部会と連携し、製造業や建設業以外の事業所に対し、茅野市はつらつ事業所の取組について周知する。		・茅野市男女共同参画推進会議雇用専門部会と連携し、製造業や建設業以外の事業所に対し、茅野市はつらつ事業所の取組について周知する。		・茅野市男女共同参画推進会議雇用専門部会と連携し、製造業や建設業以外の事業所に対し、茅野市はつらつ事業所の取組について周知する。	
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1		1		1		1		1		1	
		重点業務事業	1		1		1		1		1		1	
		理 由	・男女が共に働きやすい職場環境づくりを推進することは、家庭における男女共同参画の推進にもつながるため、茅野市はつらつ事業所認定事業を推進する。		・男女が共に働きやすい職場環境づくりを推進することは、家庭における男女共同参画の推進にもつながるため、茅野市はつらつ事業所認定事業を推進する。		・男女が共に働きやすい職場環境づくりを推進することは、家庭における男女共同参画の推進にもつながるため、茅野市はつらつ事業所認定事業を推進する。		・男女が共に働きやすい職場環境づくりを推進することは、家庭における男女共同参画の推進にもつながるため、茅野市はつらつ事業所認定事業を推進する。		・男女が共に働きやすい職場環境づくりを推進することは、家庭における男女共同参画の推進にもつながるため、茅野市はつらつ事業所認定事業を推進する。		・男女が共に働きやすい職場環境づくりを推進することは、家庭における男女共同参画の推進にもつながるため、茅野市はつらつ事業所認定事業を推進する。	

作成担当者	田中 美和	田中 美和	今井 祐子	今井 祐子	今井 祐子	武居 直樹
最終評価責任者	平出 信次	北沢 政英	北沢 政英	北沢 政英	上田 佳秋	上田 佳秋
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月10日	2021年5月28日	2022年5月30日	2023年10月19日	2024年7月5日